

「下水道による都市浸水対策達成率」について

都市浸水対策達成率: 51.9%(H16) → **52.7%(H17)**
 整備面積 75万ha(前年度比約1.1万ha増)

「下水道による都市浸水対策達成率」の定義

「公共下水道又は都市下水路による都市浸水対策の整備対象地域の面積のうち、**概ね5年に1度の大雨に対して安全であるよう、既に整備が完了している区域の面積の割合**」のことです。

都市浸水対策の整備対象地域

概ね5年に1度の大雨に
 対して安全である
 整備完了地域

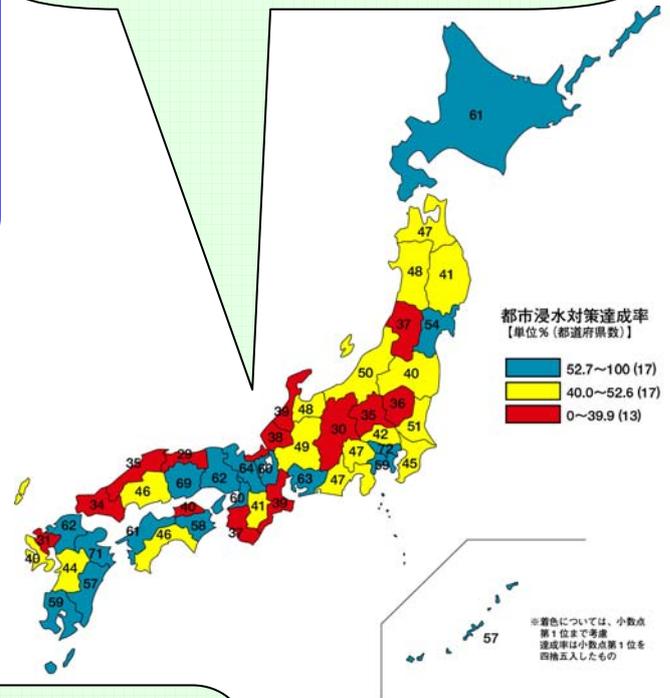
この地域の比率を指しています。



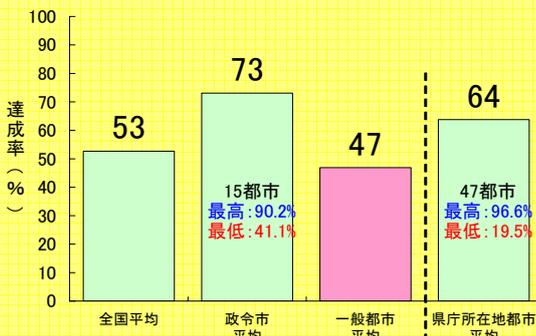
(H18.7 石川県加賀市)

平成18年度も**集中豪雨等**により、**浸水被害**が発生。

全国約6割の30県が全国平均(52.7%)を下回る状況。



下水道による都市浸水対策達成率



台風や集中豪雨等により、年間3,000億円超の内水氾濫被害が発生

内水氾濫による被害額の推移<全国>



一般都市における整備の遅れ、政令市や都道府県庁所在地都市の間にも大きな格差が存在

平成18年度に「下水道総合浸水対策緊急事業」を創設、下水道による「都市浸水対策」を緊急かつ重点的に推進する必要